

# DDW-Japan 2003 アンケート調査報告

DDW-Japan 2003 (日本消化器関連学会週間) 大阪は、5学会参加での開催となりました。各学会長の先生方、運営委員の先生方、および各学会の事務局をはじめとする多くの関係各位のご尽力のお陰を持ちまして、過去に類を見ない14,072名の参加者をお迎えし、盛会裏のうちに学会を終了することが出来ました。

今回も例年同様アンケート調査には、多数の参加者各位より貴重なご意見を頂戴致しました。DDW-Japan 2003 全体については、63%以上の参加者が普通以上の満足度を示しております。また、現行のDDW方式については、67%の方々より続行すべきのご意見を頂戴しております。しかし、主題数等については、多い、やや多いとの回答が40%にみられるなど、今後の検討課題であると思えます。

今後より良いDDW-Japan とすべく、各学会で連携を密にし、最善の努力を図って参りたいと考えております。参加者各位より一層のご意見、ご教示を賜りますようお願い致します。

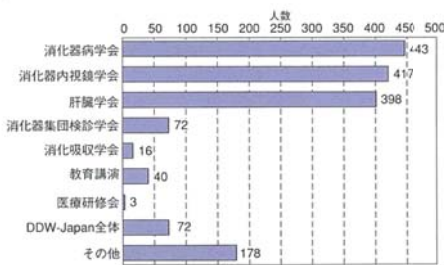
## DDW-Japan 2003 運営委員会

- 第45回 日本消化器病学会大会  
会長 寺野 彰 (独教医科大消化器内科)
- 第66回 日本消化器内視鏡学会総会  
会長 荒川 泰行 (日本大学医学部内科学講座内科3部門)
- 第7回 日本肝臓学会大会  
会長 各務 伸一 (愛知医科大消化器内科)
- 第41回 日本消化器集団検診学会大会  
会長 井田 和徳 (朝日大学村上記念病院内科)
- 第34回 日本消化器呼吸学会総会  
会長 岩崎 有良 (駿河台日本大学病院内科学講座内科3部門)

### はじめに

DDW-Japan 2003 (日本消化器関連学会週間) は、2003年10月15日(水)から18日(土)までの4日間にわたり、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本肝臓学会、日本消化器集団検診学会、日本消化器呼吸学会の5学会が参加して、大阪国際会議場およびリーガロイヤルホテルで開催された。参加人数は14,072名となり、前回(13,905名)より167名増加し、過去最高となった。今回、学会参加者に対して計34項目のアンケート調査を実施したところ、668名より回答が得られた。その中で、主な医療機関別の内訳は、大学関係(186名28%)、一般病院(295名44%)、診療所(84名13%)であった。以下にその主な項目を抜粋し、結果を報告する。

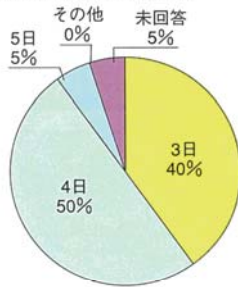
【図1】今回この学会を主な目的で参加されましたか (複数回答可)



### 開催希望日数と曜日について

希望する学会日数は3日(40%)または4日(50%)とやや4日間を希望する参加者が多かった。希望の曜日は、土曜日または日曜日を含めた開催がそれぞれ80%、83%であった。

【図2】開催の希望日数について (2003: 4日間)



### 参加費について

参加費について回答した295名の分析では、昨年より5,000円減額して20,000円になったためか、「高い」という意見は昨年の67%から19%に減少、妥当とする意見が「適当」、「2万円程度」を含め34%あった。1日券の発行を希望する意見は5%に過ぎなかった。

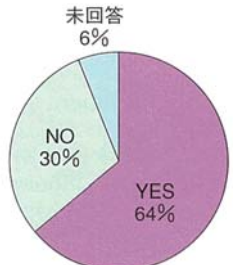
### 事前参加登録について

今年から事前参加登録を廃止したが、参加者の関心は少なく59%が未回答であった。意見の記入者のうち再開希望、不要それぞれ52%、40%と前者がやや多かった。

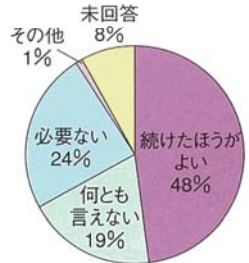
### ホームページについて

64%がホームページを利用しており、その操作性やアクセスに関しても特に問題は指摘されなかった。具体的な意見として、1年後、2年後、3年後の日程が決まったら早めに出して欲しい、プログラムを早めに公表して欲しい、発表者にはもっとはやく抄録が欲しいなどがあった。DDW-Japan ホームページから過去の抄録が検索可能であるが、CD-ROM 抄録集の配布を続けたほうがよいという意見が全体の48%を占めた。

【図3】DDW-Japan 2003のホームページにアクセスしましたか



【図4】DDW-Japanのホームページより過去の抄録が検索可能ですが、CD-ROM抄録集の配布は



### 会場について

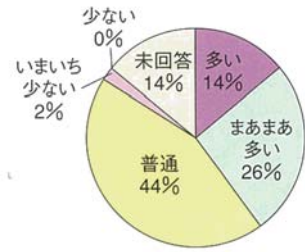
事前に各学会間で協議し、参加人数を予測したうえで会場を決定したが、会場自体の収容人数の問題もあり今回も席が足りなかったセッション、空席が目立ったセッションがあった。これは例年指摘されている問題である。今回席の足りなかった一部の会場には会場外にテレビ映像を中継したが、さらにこの方式を増やし、話題性の高いセッションが重ならないようなプログラム編成上の一層の工夫が必要と思われる。

### 主題数について

シンポジウムやワークショップなどの主題数については全体の44%が適切と回答しているが、多い、やや多い、と

の回答が計40%にみられた。DDWのスリム化も考慮して、今後検討すべき項目であると思われる。

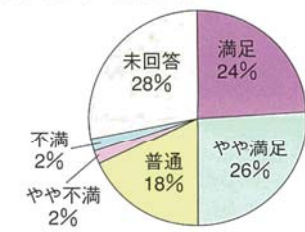
【図5】主題数について



### コンピューター発表について

本年度から発表方式がコンピューターのみとなったが、幸い大きなトラブルはなく、満足(24%)、普通(18%)と、肯定的な意見が多く、不満およびやや不満との意見はそれぞれ計2%と少数であった。スライドまたはコンピューターの選択方式の希望が21%あったが、時代の趨勢として今後もコンピューターのみによる発表が続けられることになるだろう。

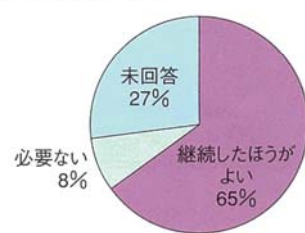
【図6】コンピューター発表について



### 合同セッションについて

合同セッションは、「継続したほうがよい(63%)」が、「必要ない(8%)」に比較し、圧倒的に多かった。具体的な希望セッションは教育講演(33%)、主題(26%)、合同プレナリー(24%)の順であった。教育講演については全体の過半数は「満足」、「やや満足」、「普通」と評価し、「やや不満」、「不満」は計2%と少数であった。

【図7】合同セッションについて

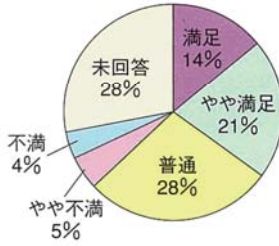


# DDW-Japan 2003 アンケート調査報告

## □ランチョンセミナー、 ブレイクファーストセミナーについて□

ランチョンセミナーについては満足 (14%)、やや満足 (21%)、普通 (28%)、とおおむね好評であった。ブレイクファーストセミナーでは回答者が前者より少数であったが、ほぼ同様の評価であった。

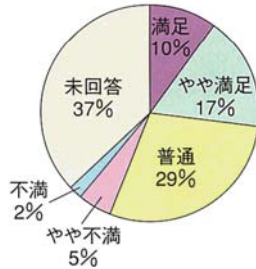
【図8】ランチョンセミナーについて



## □サテライトシンポジウムについて□

満足 (10%)、やや満足 (17%)、普通 (29%) が多く、やや不満 (5%)、不満 (2%) に比較し好意的な意見が圧倒的に多かった。

【図9】サテライトシンポジウムについて



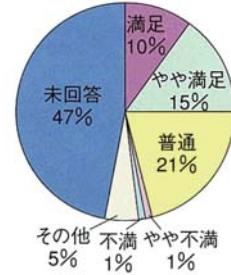
## □託児所および休息所について□

託児所は意見を寄せた31名中30名までが必要と答えた。要望として「インターネットに詳しい内容を出して欲しい」、「もう少し直前まで受け付けて欲しい」などがあった。休息所は、回答者のうち約90%が「足りた」としているが、喫煙所については全体の22%が「足りた」、15%「足りない」とのことであった。

## □会場の運営全般について□

満足 (10%)、やや満足 (15%)、普通 (21%) は計46%と、やや不満 (1%)、不満 (5%) の計6%に比較し圧倒的に満足度は高かった。

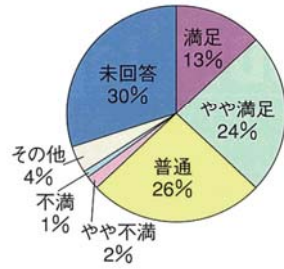
【図10】会場運営全般について



## □今回のDDW全体の満足度について□

満足 (13%)、やや満足 (24%)、普通 (26%) は計63%と、やや不満 (2%)、不満 (1%) の計3%に比較し満足度は高く、主催者側としては喜ばしいと考える結果であった。また、67%が現行の DDW 方式を続行すべきとの意見であった。

【図11】今回のDDW全体について



## □その他の意見からの抜粋□

この欄にも多くの意見をいただいた。主な点をまとめると、会場の capacity の問題、特にポスター展示の会場と運営に関する意見、DDW における教育的内容の充実などに関する意見が多かった。なお、今回、止むなく一部天井の低い会場を使用したのが、スライドが見難かったことが指摘されており、今後の反省材料としたい。それぞれの立場や専門分野の違いもあり、現行の DDW-Japan に対する希望をすべて実現させることは不可能である。しかし、今回のアンケートにより、われわれが今後改善する方向で努力しなければならない点もいくつか明らかになった。

貴重なご意見をありがとうございました。

## 2004アンケートのご協力をお願いいたします。

- ・アンケート用紙は参加登録時にお渡しいたします。
- ・ご記入後、アンケート回収箱にお入れください。